

速乾・高性能・水性特殊変性エポキシさび止め塗料

# アクアマックスⅡ

AQUA MACSⅡ

内部及び準外部(非雨掛かり部)用さび止め塗料

環境を考慮し、時代にマッチした塗料です!

## 低VOC

塗料中のVOCは0.5%以下です。  
日本塗料工業会の居室用塗料に対する目標基準値は1.0%以下です。

## 完全水系仕様

水性上塗り塗料を組み合わせれば、完全水系仕様が実現します。

## 速乾

4時間(23℃)で上塗り(水性)が可能です。

## 防錆力

JPMS-21 2種水系さび止め塗料の品質基準を満たしております。  
<JPMS-21は日本塗料工業会規格(JPMS)です。>

# アクアマックスII

## 特長

塗料中のVOCは0.5%以下です。※日本塗料工業会の居室用塗料に対する目標基準値は1.0%以下です。

ホルムアルデヒドの放散等級区分はF☆☆☆☆です。

鉛・クロムは配合していません。

一液形です。

塗装作業性に優れています。

乾燥性に優れています。

きめ細かな仕上がり性(平滑性)が得られます。

水性反応硬化樹脂系塗料(艶あり～3分艶)・弱溶剤系塗料の上塗りが可能です。

JPMS-21 2種水系さび止め塗料の品質基準を満たしております。

※JPMS-21は日本塗料工業会規格(JPMS)です。JPMS-21には1種と2種があります。2種は1種より高いレベルになっております。通常、国土交通省ではJPMS-21 1種の水系さび止め塗料規格を使用しています。

## 用途

内部・準外部(非雨掛かり部)における一般鉄骨、建屋鉄骨、架台、看板、手すり、鉄扉、門扉、軽量鉄骨などの防錆用です。

## 各種素材適性

素材種類	塗替	新設
鉄	○	○
ステンレス	○	○
アルミ	○	○
トタン	○	○
電気亜鉛メッキ	○	×※1
熔融亜鉛メッキ	△	×
硬質塩ビ鋼板	×	×

○:適性あり △:メッキ面が露出している面には塗装を避けて下さい。×:不適注) 埃や油などを必ず除去し、素材の目粗しは入念に実施して下さい。  
※1 非鉄金属面において、内部で、水の影響がない部位には適用可です。

## 塗料性状

塗料系統	水性特殊変性エポキシさび止め塗料
色	グレー(N8.5近似)・赤さび色
比重	1.32
加熱残分(%)	55
ホルムアルデヒド等級区分	F☆☆☆☆
TVOC(%)	0.5%以下
環境ホルモン物質	配合せず
鉛・クロム・重金属	配合せず

## 使用方法

塗装器具	ハケ・ローラー	エアレス
下地調整	被塗面のミルスケール・サビ・油・水分などを除去し、塗面を清掃してください。	
調合	使用前によくかきまぜ均一にしてください。	
希釈剤	上水	
希釈率(%)	0～5%	0～5%
標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	0.14	0.17
膜厚(μm)	35	35
エアレス条件	—	二次圧:10Mpa以上 チップ:No.163-515～619

\*標準塗付量は個々の条件によって、異なります。  
標準塗付量は塗装作業に必要な使用量の数値です。

## 乾燥条件および塗り重ね時間

温度	5℃	23℃	30℃
指触	30分	15分	10分
半硬化	90分	30分	20分
塗り重ね時間*	6時間以上	4時間以上	3時間以上

\*塗り重ね時間:水性上塗塗料の場合です。  
但し、乾燥時間・塗り重ね時間は塗装環境(湿度・換気・風通し易さなど)や膜厚、更に被塗物の表面温度などによって変動致します。

## 上塗適性

5分つや・3分つや：アレス水性ネクスト

つやあり：アスカII

注1)艶消し上塗塗料(ビニデラ500・300など)は使用しないで下さい。

注2)その他水性上塗塗料の適用については別途ご相談下さい。

注3)強溶剤系上塗塗料を適用した場合、本品が溶解したり、チヂミが発生することがありますので、適用しないで下さい。

## 旧塗膜適性

旧塗膜種		旧塗膜適性
一般名称	弊社該当製品	
フッ素樹脂塗料	アレスセラフッソ・ムキフッソ等	×
アクリルシリコン樹脂塗料	セラシリコン・セラMシリコンII等	×
ポリウレタン樹脂塗料	アレスレタン・セラMレタン等	○
非水分散形アクリル樹脂エナメル	アレスセラマイルド・セラマイルドグロス等	○*
塩化ゴム樹脂系塗料	ラバテクト	○*
塩化ビニル樹脂エナメル	ビニボン100	○*
アクリル樹脂エナメル	アレスセラアクリル	○*
合成樹脂調合ペイント	SDホルス1000等	○
フタル酸樹脂エナメル	アレスネクスト等	○
エポキシ樹脂塗料	エスコNB・スーパーザウルス等	○
合成樹脂アクリルエマルジョン	ビニデラ300・500	○*
つや有合成樹脂エマルジョンペイント	アレスアクアグロス・アクアレタン等	○

○：適性あり ○\*：屋内に限定(結露水などや水が滞留する部位には不適) ×：不適  
注) 埃や油などを必ず除去し、旧塗膜の目粗しは入念に実施して下さい。

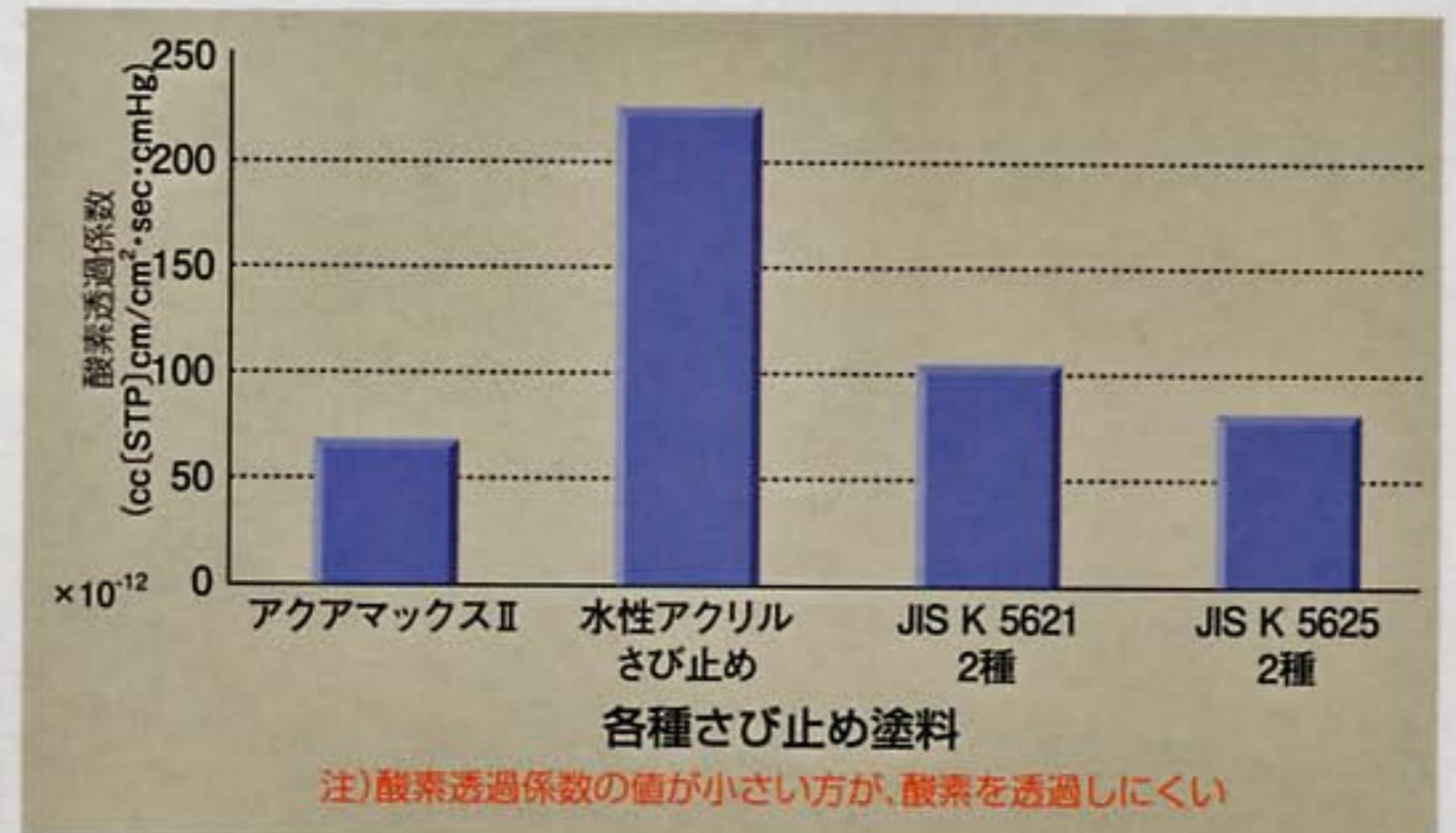
## 塗膜性能

### ■塩水噴霧試験240時間

<御参考>



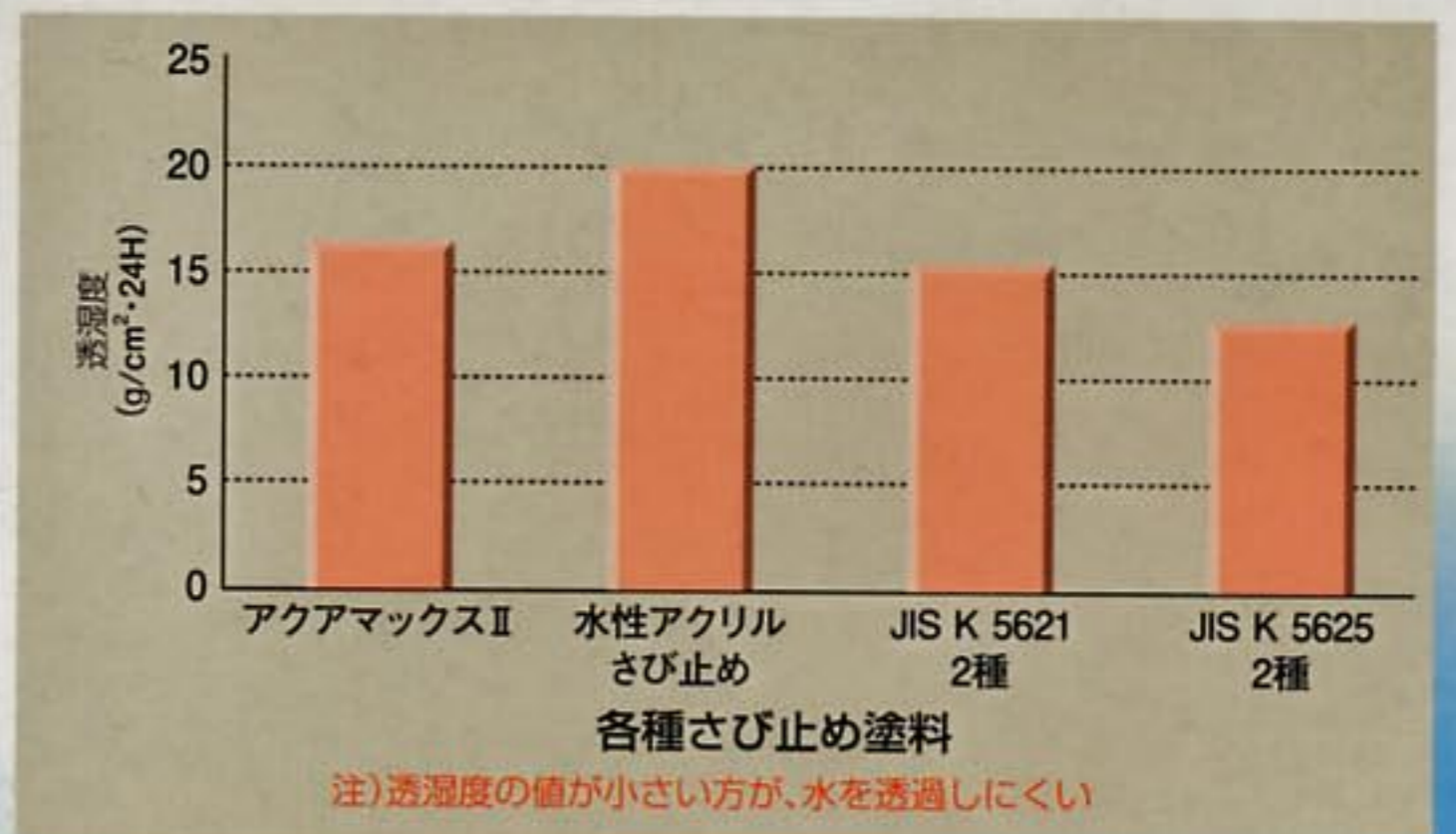
### ■酸素透過係数



### ■塗膜性能表

項目	JPMS-21 2種	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき固いかたまりがなく、一様になること	合格
低温安定性	-5℃に冷やしても変質しないこと	合格
分散度 μm	40以下	合格
塗装作業性	2回塗りで、塗装作業に支障がないこと	合格
乾燥時間(半硬化乾燥)	4時間以内	合格
上塗り適合性	上塗りに支障がないこと	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であること	合格
フラッシュテスト	異常がないこと	合格
低温造膜性	低温においても塗膜形成に異常がないこと	合格
付着安定性	はがれを認めないこと	合格
耐塩水性	塩化ナトリウム水溶液(3w/v%)に168時間浸しても異常がないこと	合格
防せい(錆)性	3か月の試験期間が過ぎたとき、外観に著しく異常がなく、塗膜をはがしさびの程度が見本品に比べて大きくないこと	合格

### ■透湿度



## 標準塗装仕様(例)

### ■屋内鉄部

工程	塗料名と処置	回数方法	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈率 (%)
1	素地調整					
	新設の場合：あらかじめ工場ですび止め塗装された面の劣化した塗膜、浮き錆は入念にケレンし、除去する。 油脂、汚れなどはワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去し、清浄な面とする。 塗替の場合：電動工具、手工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、浮き錆は入念にケレンし、除去する。					
2	(補修塗り)					
	新設の場合：工場塗装された溶剤形さび止め塗膜における架設時の欠損部を現地にて、アクアマックスⅡで、補修塗りする。 塗替の場合：素地の露出がある場合にはアクアマックスⅡを補修塗りする。					
	アクアマックスⅡ	(1)	ハケ、ローラー(短毛)	4時間以上7日以内	0.14	上水:0~5
3	下塗り	1	ハケ、ローラー(短毛)	4時間以上7日以内	0.14	上水:0~5
4	上塗り	2	ハケ、ローラー(短毛)	4時間以上7日以内	0.08~0.12	上水:3~8

注) 1. 塗装間隔が7日以上になる場合には各工程間でペーパーがけを行ってください。 3. 希釈率は必ずお守りください。  
 2. 端部などは一般にスケ易いので先に拾い塗りなどの処理を必要に応じて行ってください。

### ■荷姿

アクアマックスⅡ

赤さび色・グレー (N8.5近似):16kg

### 施工上の注意事項

- 顔料沈降している場合がありますので、開缶後よくかき混ぜて中味を均一にしてください。
- 旧塗膜に光沢感がある場合と著しくチョーキングが発生している場合は、入念に目粗しを行ってください。
- さびが残存した面に塗装されると、点さびが発生する場合があります。従って、さびの除去は入念に実施してください。
- さびが残存し、さびの除去が十分に行えない塗装部位や海浜地区などの厳しい環境には溶剤形さび止め塗料をお勧めします。
- 新設物件などで、工場塗装される場合にも溶剤形さび止め塗料をお勧めします。架設後の塗装は本品をご使用ください。
- 素材(旧塗膜が無い)へ塗装した本品にピンホールや本品の塗り残し部が存在した場合、水性上塗り塗装を塗装すると点さびが発生しますので、本品は必ずピンホール(ハケ塗りを推奨)や塗り残しがないよう塗装してください。
- 水による希釈は規定量を厳守してください。過希釈はタレやハジキが生じ易く、さらに膜厚確保ができず耐久性が損なわれます。
- ナイロン刷毛をご使用ください。動物刷毛は刷毛が固まったり、ブツが生じる場合があります。
- 乾燥が速いため休憩などによる作業時間が空く場合、塗料に刷毛やローラーを浸したまま、密栓してください。
- 一度に厚く塗りすぎると、乾燥不良や中腫が生じますので、規定膜厚を遵守してください。
- 塗装用具の洗浄は水で行えますが、取れにくい場合は、ラッカーシンナーをご使用下さい。
- 本品は反応硬化形塗料ですので、洗浄は作業が終了した時点で行ってください。
- 降雨が予想される場合は、塗装を避けてください。
- 5℃以下低温、85%以上の高湿度、または換気が十分ではなく結露が生じる場合は塗装を避けてください。
- 塗り重ね時間は塗装環境(温度・湿度・換気・風通し易さ)や膜厚によって変動します。
- 取り合いなどによって弱溶剤形上塗り塗装を塗装される場合は、塗り重ね時間を十分に確保することをお願いします。
- エアレスによる塗装の場合は塗装ミストによる汚染防止のために十分な養生を行ってください。
- 結露が生じ易い部位や没水部への適用は避けてください。

### ご使用上の注意事項

- 製品取扱い上の注意事項(安全衛生他)
    - 安全・衛生に注意し、正しく製品をご使用いただくために、特に下記の事項を守って下さい。
  - 一般的注意事項
    - 引火性の液体で火気厳禁ですので、火気のあるところでは使用しないで下さい。
    - 吸入したり、皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、その他の健康障害を起こす恐れがありますので、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。
  - 取扱い方法
    - 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
    - 塗装中、乾燥中ともに換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
    - 取扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護メガネ、保護手袋、更に頭巾、長袖の作業衣、えり巻きタオル等を着用して下さい。
    - こぼれた時には砂等を散布した後、布類(ウエス)で拭き取って下さい。塗料の付いた布類や塗料かす、スプレーダスト等は、必ず水に浸して処理して下さい。
    - 取扱い後は洗顔、手洗い、うがい及び鼻孔洗浄を十分に行ってください。
  - 皮膚に付着した時には、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷が生じた時には、医師の診察を受けて下さい。
  - 救急処置
    - 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
    - 蒸気やガスを吸って不快な時には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
  - 火災時の処置
    - 火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。
  - 貯蔵保管方法
    - 完全にフタをし、一定の場所を定めて、子供の手の届かない所に保管して下さい。
  - 廃棄方法
    - 捨てる時は、産業廃棄物として処理して下さい。
  - 誤使用防止
    - 本来の目的以外に使用しないで下さい。
- 詳細な内容は、化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

## 関西ペイント販売株式会社

本社 TEL (03) 5711-8904 FAX (03) 5711-8934  
 東北販売部 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073  
 中部販売部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981  
 大阪販売部 TEL (06) 6337-0761 FAX (06) 6330-2951  
 中国販売部 TEL (086) 245-9455 FAX (086) 245-9460

## 株式会社カンペ共販北海道

本社 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757

## 株式会社カンペ共販四国

本社 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950

## 株式会社カンペ共販九州

本社 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

● 関西ペイントホームページアドレス <http://www.kansai.co.jp/>

ご用命は